



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月28日

上場会社名 株式会社 ウェッズ  
 コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 稲妻 範彦  
 (氏名) 中尾 宏平  
 TEL 03-5753-8201

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	27,158	12.9	1,257	9.3	1,263	11.9	768	15.9
2021年3月期第3四半期	24,056	0.2	1,386	1.1	1,434	1.6	913	1.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 698百万円 ( 15.0%) 2021年3月期第3四半期 821百万円 ( 14.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	47.90	
2021年3月期第3四半期	56.97	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	23,299	14,996	58.6	851.45
2021年3月期	21,535	14,668	62.1	834.31

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 13,655百万円 2021年3月期 13,380百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		10.00		12.00	22.00
2022年3月期		10.00			
2022年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	0.4	1,560	0.7	1,610	0.4	1,005	0.4	62.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	16,118,166 株	2021年3月期	16,118,166 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	80,039 株	2021年3月期	80,001 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	16,038,131 株	2021年3月期3Q	16,038,165 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の影響等により期初から一進一退でしたが、第3四半期では緊急事態宣言等の解除に伴う活動制限緩和により生産・消費に持ち直す動きが見えました。一方で今年に入り、オミクロン株によるコロナの新規感染者数が再拡大する中、半導体不足や資源価格の高騰も継続するなど先行きは不透明な状況にあります。

当第3四半期連結累計期間は、主力のアルミホイール等が増加した自動車関連卸売事業はじめ各事業での売上増により、売上高は、27,158百万円（前年同期比12.9%の増収）と3,101百万円の増収となりました。一方で、原材料価格の上昇などによる仕入コストの増加等により営業利益は、1,257百万円（前年同期比9.3%の減益）、経常利益は1,263百万円（前年同期比11.9%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、768百万円（前年同期比15.9%の減益）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(セグメント別の概況)

(単位：百万円)

		自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第3四半期 連結累計期間	20,312	5,255	1,818	324	793	△1,345	27,158
	前第3四半期 連結累計期間	18,059	4,538	1,658	323	769	△1,293	24,056
セグメント利益 又は損失(△)	当第3四半期 連結累計期間	910	251	56	17	20	△0	1,257
	前第3四半期 連結累計期間	1,175	148	9	28	25	△0	1,386

## (自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業の売上高は20,312百万円となり前年同期比2,252百万円(12.5%)の増収となりました。これは、冬季用はじめ主力のアルミホイール等、商品全般の販売が増加したことによります。一方、セグメント利益は原材料価格の上昇などによる仕入コストの増加等により910百万円となり前年同期比264百万円(△22.5%)の減益となりました。

## (物流事業)

物流事業の売上高は、主要顧客等との既存取引の増加や新拠点立ち上げに伴う新規取引などにより5,255百万円となり前年同期比717百万円(15.8%)の増収となりました。セグメント利益につきましても新拠点や新規業務対応に係る費用等を吸収し、251百万円となり前年同期比103百万円(70.0%)の増益となりました。

## (自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業の売上高は、昨年ジェームス店としてリニューアルしたジェームス安城店と通販による自動車用品等の販売が増加し、1,818百万円となり前年同期比159百万円(9.6%)の増収となりました。セグメント利益は56百万円となり前年同期比47百万円(489.2%)の増益となりました。

## (福祉事業)

福祉事業の売上高は、ヘルパー収入が増加する一方で、有料老人ホーム等の収入が減少したため324百万円と前年同期比0百万円(0.3%)の増収となりました。一方、セグメント利益は人件費等の増加もあり、17百万円となり前年同期比10百万円(△36.4%)の減益となりました。

## (その他)

携帯電話代理店事業の売上高につきましては、Yモバイルの販売が好調で733百万円となり前年同期比24百万円(3.4%)の増収、賃貸事業の売上高は60百万円で前年同期比0百万円(△0.5%)の減収となり、合わせて793百万円となり23百万円(3.1%)の増収となりました。

セグメント利益は、携帯電話代理店事業では、インセンティブ収入の減少や販売経費の増加等により、21百万円の損失となり前年同期比6百万円の悪化となりました。また、賃貸事業は42百万円の利益で前年同期比2百万円(5.2%)の増益となり、合わせて20百万円と前年同期比4百万円(△18.3%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における総資産額は23,299百万円となり、前期末に比べて1,763百万円の増加となりました。主たる要因は、季節的要因による売掛債権の増加によるものです。

負債総額は8,302百万円であり、前期末に比べて1,435百万円の増加となりました。主たる要因は冬季商戦に向けた仕入等による買掛債務の増加によるものです。

純資産は14,996百万円となり、前期末に比べて327百万円の増加となりました。主たる要因は、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2021年5月13日に公表した業績予想を据え置いております。

今後の業績等を踏まえ、修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,050,338	3,251,897
受取手形及び売掛金	3,505,934	6,246,183
電子記録債権	178,577	314,648
商品	2,538,931	3,489,980
仕掛品	209,048	218,969
原材料及び貯蔵品	52,173	68,620
デリバティブ債権	413,420	205,390
前渡金	124,764	225,981
その他	391,107	321,443
貸倒引当金	△267	△1,231
流動資産合計	12,464,028	14,341,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,857,817	7,966,609
減価償却累計額	△4,178,532	△4,377,392
建物及び構築物(純額)	3,679,284	3,589,216
土地	3,357,291	3,358,291
その他	1,496,989	1,471,956
減価償却累計額	△1,157,207	△1,176,108
その他(純額)	339,781	295,847
有形固定資産合計	7,376,358	7,243,356
無形固定資産		
のれん	103,696	89,938
その他	60,659	53,506
無形固定資産合計	164,356	143,444
投資その他の資産		
投資有価証券	443,417	445,506
繰延税金資産	360,508	405,262
退職給付に係る資産	73,625	72,574
その他	659,240	652,650
貸倒引当金	△5,696	△5,662
投資その他の資産合計	1,531,095	1,570,331
固定資産合計	9,071,809	8,957,132
資産合計	21,535,838	23,299,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,464,432	3,922,212
短期借入金	266,440	382,440
未払法人税等	384,517	272,183
携帯電話短期解約返戻引当金	619	—
賞与引当金	201,494	158,843
役員賞与引当金	59,100	45,975
その他	816,431	902,156
流動負債合計	4,193,036	5,683,810
固定負債		
長期借入金	1,722,000	1,621,920
繰延税金負債	7,242	2,724
修繕引当金	55,500	67,095
退職給付に係る負債	212,931	230,311
役員退職慰労引当金	116,859	138,759
資産除去債務	198,194	199,334
その他	361,884	358,950
固定負債合計	2,674,612	2,619,095
負債合計	6,867,648	8,302,906
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	845,913	845,913
利益剰余金	11,243,885	11,659,199
自己株式	△47,760	△47,781
株主資本合計	12,894,787	13,310,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171,641	172,461
繰延ヘッジ損益	286,831	142,499
為替換算調整勘定	27,516	30,584
その他の包括利益累計額合計	485,988	345,545
非支配株主持分	1,287,413	1,340,482
純資産合計	14,668,190	14,996,110
負債純資産合計	21,535,838	23,299,016

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	24,056,657	27,158,601
売上原価	19,154,922	22,201,967
売上総利益	4,901,734	4,956,633
販売費及び一般管理費	3,515,052	3,698,954
営業利益	1,386,682	1,257,679
営業外収益		
受取利息	177	190
受取配当金	11,534	12,761
受取補償金	21,106	—
雇用調整助成金	10,915	6,380
その他	30,141	20,167
営業外収益合計	73,874	39,499
営業外費用		
支払利息	4,797	4,599
為替差損	1,517	5,727
固定資産売却損	—	4,184
固定資産除却損	14,801	15,173
その他	4,803	4,090
営業外費用合計	25,919	33,776
経常利益	1,434,638	1,263,403
税金等調整前四半期純利益	1,434,638	1,263,403
法人税、住民税及び事業税	362,564	410,205
法人税等調整額	111,430	14,539
法人税等合計	473,995	424,744
四半期純利益	960,642	838,658
非支配株主に帰属する四半期純利益	46,923	70,504
親会社株主に帰属する四半期純利益	913,719	768,153



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	960,642	838,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,084	906
繰延ヘッジ損益	△193,248	△144,331
為替換算調整勘定	△322	3,067
その他の包括利益合計	△139,486	△140,357
四半期包括利益	821,156	698,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	774,185	627,710
非支配株主に係る四半期包括利益	46,971	70,590

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「携帯電話短期解約返戻引当金」は、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示することといたしました。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,748,237	3,557,111	1,658,347	323,118	23,286,814	769,843	24,056,657	—	24,056,657
セグメント間の内部売上高又は振替高	311,442	981,288	637	—	1,293,368	—	1,293,368	△1,293,368	—
計	18,059,679	4,538,399	1,658,984	323,118	24,580,182	769,843	25,350,025	△1,293,368	24,056,657
セグメント利益	1,175,502	148,062	9,623	28,183	1,361,372	25,383	1,386,755	△72	1,386,682

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△72千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,980,265	4,242,829	1,817,806	324,069	26,364,971	793,629	27,158,601	—	27,158,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	332,349	1,012,597	538	—	1,345,484	—	1,345,484	△1,345,484	—
計	20,312,614	5,255,426	1,818,344	324,069	27,710,455	793,629	28,504,085	△1,345,484	27,158,601
セグメント利益	910,689	251,698	56,698	17,917	1,237,004	20,746	1,257,750	△70	1,257,679

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△70千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。